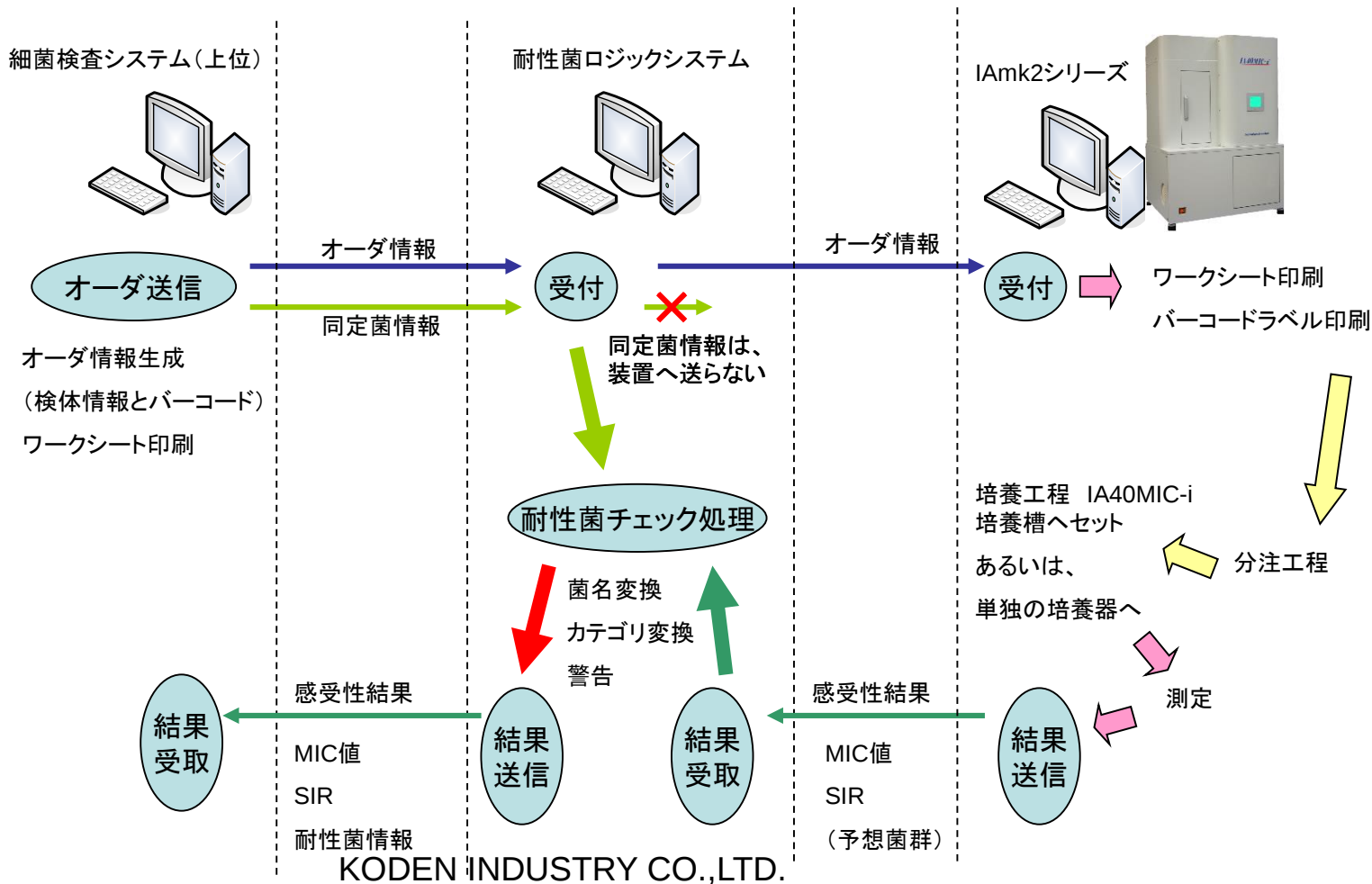
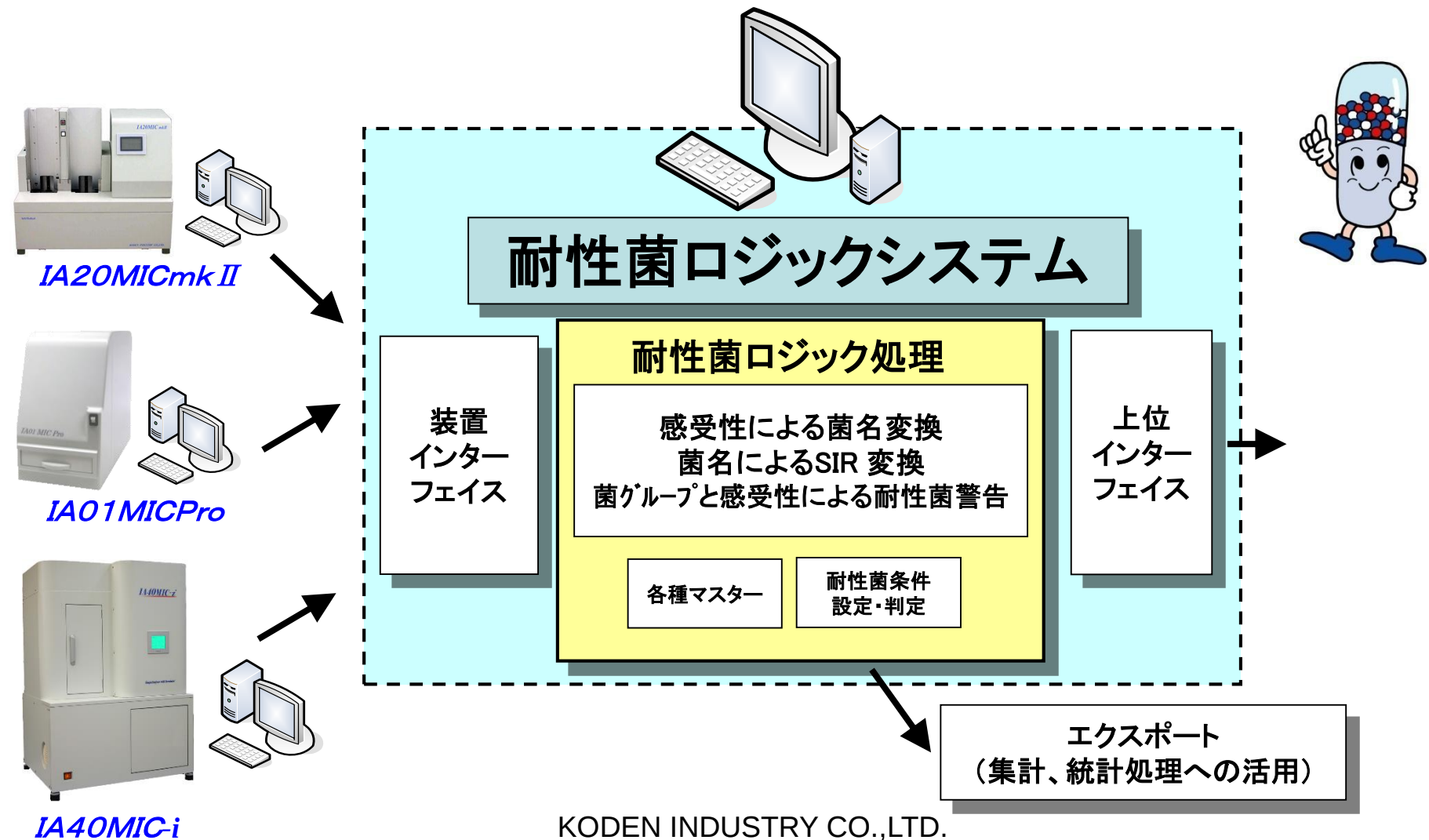


IAmk2シリーズと耐性菌ロジックシステムの標準的な運用の概要



耐性菌ロジックシステム



耐性菌ロジックシステムの機能（1）

① 感受性結果による菌名変換

S. aureus → MRSA

感受性結果に対する耐性条件:

MPIPC $\geq 4 \mu\text{g/ml}$

(MRSA, VRSA, VRE, PRSP, MDRP, 等の条件設定可)



② 菌名による薬剤セットにおける感受性カテゴリ値(SIR) 変換

感受性結果
(変換前)

A剤 S
B剤 S
C剤 I
D剤 R

菌名、耐性菌名等
の条件

A剤 R
B剤 R
C剤 I
D剤 R

感受性結果
(変換後)

耐性菌ロジックシステムの機能（2）

③ 菌名よる耐性菌警告

感受性結果

薬剤ごとのMIC値等により



「、、、の疑い」

（コメントとして）



1. 耐性条件の入力は、薬剤とMIC値をANDとORで設定
※AND条件は、5個までOR条件は、制限無
2. 菌名変換等のリセット(元に戻す)が可能
3. 集計用データの抽出・エクスポート機能